



発刊の辞	1
山伏・連句に就いての断章(一)	2
連句の復活とその将来	6
東 明雅	2
草間時彦	2

風の二月	10
捌・東 明雅	10
(文) 秋元正江	10

初懐紙	12
捌・東 明雅	12
(文) 馬場東夷	12

桃の花	16
(文) 歌川和代	16

行く秋	18
(文) 福井隆秀	18

連句との出会い	9
式田和子	9

マッシュマロ	14
小 出きよみ	14

新しい詩の場として	20
内田麻子	20

舟遊び	20
中島啓世	20

付句募集(付勝練習歌仙)	5
--------------	-------	---

武翁賞設定	9
-------	-------	---

歌仙「冥極」評	21
井手樗晴	21

表紙	目張(めばる)	岩満 重孝
カット	坂本 孝子	

季刊連句第二号 目次

山伏・連句に就いての断章(二)	1
草間時彦	1
私の連句採点法	6
東 明雅	6
梅林の土	10
捌・東 明雅	10
(文) 米谷貞子	10
業平忌	12
捌・東 明雅	12
(文) 坂本孝子	12
リラ句ふ	14
捌(文) 川野蓼艸	14
枝垂れ木	16
捌(文) 馬場彬風	16
「絶頂の城」付勝練習歌仙	18
武翁賞設定	5
雁帛往来	20
連句会案内	21

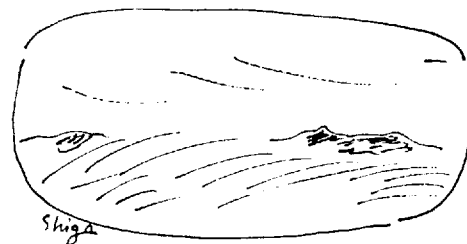
表紙 香翹魚(まんぼう) 岩満重孝

季刊連句	創刊号	昭和58年6月1日発行
発行者	東 明雅	編集者 杉内徒司
頒 価	500円(1年分送共 2,000円)	
発行所	季刊連句発行所(〒277 柏市つくしが丘2-2-12)	
	電話	0471-75-1192 振替 東京7-52133

季刊連句 第4号 目次

ウイーンの連句会(南柏雑記2).....	1
俳諧師の世界像 平井照敏.....	2
俳諧師 その心と生活 (1) 東明雅.....	6
時雨 四吟歌仙 (文)鈴木春山洞.....	12
初 懐 紙 朴歯の下駄 捌杉内徒司.....	14
(文)馬場彬風	
熨斗柳 捌中島啓世.....	15
(文)福井隆秀	
西湖堤 捌秋元正江.....	16
(文)高瀬美保	
冬霞 捌大窪瑞枝.....	17
(文)速水昌子	
「絶頂の城」付勝練習歌仙 東明雅.....	18
春立つ (連句教室) 東明雅.....	19
すり付けとべた付け.....	11
雁帛往来.....21 連句会案内.....	21

表紙 桜鯛(さくらだい)岩満重孝



南柏雑記.....	1
一日がかり・連句に就ての断章(三).....	2
一座の興 東明雅.....	5
老松△三吟歌仙▽ 明雅・杜藻・時彦.....	10
「絶頂の城」付勝練習歌仙.....	12
芭蕉翁参百回忌取越し追善歌仙興行.....	14
昭和枯尾花 東明雅.....	14
枯野 捌・東明雅.....	17
(文)杉江杉亭	
枯野 捌・馬場東夷.....	18
(文)雑賀遊	
枯野 捌・坂本孝子.....	19
(文)山口みづゑ	
武翁賞 捌・吉沢てるよ.....	20
(文)市野沢弘子	
雁帛往来.....	21
表紙 鮮(ひらめ)岩満重孝.....	21
連句会案内.....	9・13
季刊「連句」書評.....	9・13

季刊連句 第6号 目次

最初の翁塚 (南柏雑記4)	1
『付方自他伝』注解(上)	東 明 雅 2
『酔ひどれ歌仙』評—現代連句の基礎—	馬 場 東 夷 7
梅雨入 四吟	(文)杉 内 徒 司 10
青水無月	捌 東 明 雅 (文)伊 藤 敬 子 12
絶頂の城 付勝練習歌仙 14
南柏の花	式 田 和 子 6
ななかまど	捌 東 明 雅 20
第九回猫蓑会 四歌仙	16
真昼の花	東 明 雅 捌 ... 16
木の花	福 井 隆 秀 捌 ... 17
第十回猫蓑会 四歌仙 16
夏燕	穴 沢 篤 子 捌 ... 18
虹二重	内 田 麻 子 捌 ... 19
雁帛往来	21
連句会案内	21

表 紙 (雀) 岩 満 重 孝

季刊連句 第5号 目次

花ごよみ (南柏雑記3)	1
ドイツの「連歌」	加 藤 慶 二 2
俳 諧 師 その心と生活 (2)	東 明 雅 6
雪 解 け	東 明 雅 12
	(文)米谷貞子
「絶頂の城」 付勝練習歌仙	東 明 雅 14
モロッコ吟行	中 島 啓 世 11
岡野ひさの嬢送行歌仙	杉 内 徒 司 16
五 浦 吟 行	秋 元 正 江 17
質疑応答<付心と付味>	20
雁帛往来	20
連句会案内	21

表 紙 (雀) 岩 満 重 孝

嗜んだ事もよく知られている。
元禄七年(一六九四) 京都

季刊連句 第10号 目次

二十韻の愛称(南柏雑記8).....	1
連句の読み方・味わい方(二)..... 東 明 雅	2
—「木のもとに」の巻—	
牛耳傳(3)..... 杉 内 徒 司	6
二十韻 巴里祭..... 東 明 雅 捌	8
絶頂の城 付勝練習歌仙.....	14
二十韻 梅雨の富士..... 東 明 雅 捌	16
沙羅の会 三歌仙..... 氏 原 正 雄	18
連句のなかの季語—連句雑感(二)..... 草 間 時 彦	20
深川遺跡めぐり..... 中 島 啓 世	23
第十四回猫蓑会 六歌仙	
まぶしき昼.....中川 哲..... 25	緑 蔭.....原田 千町..... 25
夏めきし風.....富田一青子..... 26	梅 雨 明 け.....上月 淳子..... 26
亀 の 子.....花井喜久子..... 27	夏 蝶.....速水 昌子..... 27
質疑応答.....28	連句会案内..... 29
	雁帛往来..... 29

表 紙 (筈) 宮 崎 龍 火 子

季刊連句 第9号 目次

からむし庵(南柏雑記7).....	1
発句の資格—連句雑感(1)..... 草 間 時 彦	2
連句の読み方・味わい方..... 東 明 雅	6
—「木のもとに」の巻—	
牛耳傳(2)..... 杉 内 徒 司	10
二十韻 春ノ月.....三 吟..... 川 野 蓼 艸 時 彦 明 雅	12
絶頂の城 付勝練習歌仙.....	18
芦丈先生墓参行..... 福 井 隆 秀	20
第十三回猫蓑会五歌仙.....	22
花の土手.....大窪 瑞枝 捌... 22	さくら東風.....山口みづゑ 捌... 22
紫木蓮.....高瀬 美保 捌... 23	花 び ら.....副島久美子 捌... 24
木蓮の日昏れ...米谷 貞子 捌... 24	
質疑応答..... 5	連句会案内..... 25
	雁帛往来..... 25

表 紙 (筈) 宮 崎 龍 火 子

季刊連句 第12号 目次

南柏雑記 (10).....	1
耳からの連句.....草間時彦.....	2
連句の読み方・味わい方 四.....東明雅.....	5
—「木のもとに」の巻—	
牛耳伝 (5).....杉内徒司.....	10
歌仙 風花.....宮坂静生捌.....	12
気遅れせずに運座へどうぞ.....馬場東夷.....	14
二十韻 柏子.....式田和子.....	16
誹諧武玉川のこと.....杉江杉亭.....	18
絶頂の城.....	20
<hr/>	
第十五回猫叢会 二十韻 六席.....	22
初日.....副島久美子.....	22
初懐紙.....杉内徒司.....	22
一の糸.....大窪瑞枝.....	22
初雀.....市野沢弘子.....	24
迎へる年.....杉江杉亭.....	24
蘭玉.....雑賀遊.....	24
<hr/>	
二十韻 季題配置表.....	26
雁帛往来.....	29
連句会案内.....	29

表紙 (柴犬) 宮崎龍火子

季刊連句 第11号 目次

「猫叢会」とそのお仲間 (南柏雑記 9).....	1
第二回 昭和六十年武翁賞決定発表.....	2
連句の読み方・味わい方 (三).....東明雅.....	8
—「木のもとに」の巻—	
牛耳伝 (4).....杉内徒司.....	12
絶頂の城 付勝練習歌仙.....	14
<hr/>	
第5回 俳諧芭蕉忌.....	第15回猫叢会.....16
初時雨 脇起り六歌仙	
(捌) 櫻井天留子 氏原正雄 中島啓世.....	16
式田和子 福井隆秀 秋元正江.....	18
芭蕉庵連句教室 火の帯.....中川哲.....	20
草紅葉.....井手樺晴.....	20
不知火.....川野蓼艸.....	20
花野連句会 露時雨.....小出きよみ.....	22
さざなみ連句会 濃竜胆.....杉内徒司.....	23
初秋 (膝送り).....	23
興流連句会 二日月.....馬場彬風.....	24
柿の実.....馬場彬風.....	24
鼎 三吟 鶏頭.....岩淵喜代子 森玲子 磯辺まさる.....	25
電通会連句部 夜 永.....山口美恵.....	26
柏連句会 秋惜しむ.....武藤禎夫.....	27
穂芒.....井手樺晴.....	27
<hr/>	
質疑応答.....	28
連句会案内.....	29
雁帛往来.....	29

表紙 (柴犬) 宮崎龍火子

季刊連句 第14号 目次

連句辞典の完成（南柏雑記12）	1
故人名は他か場か	東 明 雅 2
ACC連句教室の再編成	5
俳諧の笑い話	武 藤 禎 夫 6
『連句辞典』編纂者の辞	8
①用語篇雑感	大 畑 健 治 8
②起情二つ	宮 脇 眞 彦 14
③連句研究の現状	長 島 弘 明 18
④用語遍歴	杉 内 徒 司 21
芭蕉口傳（蓮の糸 五尺の菖蒲 乞食袋）	13 (目当の柱) 17
絶頂の城 付勝練習歌仙	24
第18回猫蓑会 二十韻 六作品	26
瀧見翁	穴沢篤子 睡 蓮
四十雀	高瀬美保 梅雨あがれ
	島田和世 歩道橋
	杉戸金一 中川哲
	返り梅雨
	原田千町
鷗外居 二十韻	鈴 木 春山洞 28
連句会案内	29
	雁帛往来 29

表 紙 (柴犬) 宮 崎 龍火子

季刊連句 第13号 目次

つつじの柱（南柏雑記11）	1
俳諧資料の湮滅とその保存	東 明 雅 2
井草麦雅	杉 内 徒 司 4
連句の読み方・味わい方 ⑤(完)	東 明 雅 6
—「木のもとに」の巻—	
二十韻 春や昔	東 明 雅 9
吉野紀行	秋 元 正 江 10
吉野にて（脇起り）行く春 葛葉子	秋 元 正 江 捌
櫻千本 原田千町捌 賦吉野二十韻 みよし野や 鶯	
堅香子と櫻	東 明 雅・下鉢清子 14
かたくりや（膝送り） 広池の花	式 田 和 子 捌
なんじゃもんじゃ	中 田 あ かり 捌
かたかごや	下 鉢 清 子 捌
（第3回）沙羅の会 春の街	馬 場 彬 風 春 の 雪
	馬 場 東 夷 16
吉野の会 下萌 連翹	18
絶頂の城 付勝練習歌仙	21
岡野ひさの歓迎連句興行	井 手 樺 晴 23
第17回猫蓑会 五歌仙	24
松の花	上 月 淳 子 四 月 盡
	米 谷 貞 子 桜 葉
	内 田 麻 子
弥生尽	吉 沢 て る よ 紫 木 蓮
	速 水 昌 子
柏連句会	27
藤 の 花	下 鉢 清 子 穀 雨
	井 手 樺 晴
連句教室	28
落 の 姑	東 明 雅 乞 食 葱
	福 井 隆 秀
句集「イカルの夢」（筆洗・東京新聞 61.4.20より）	7
連句会案内	29
	雁帛往来 29

表 紙 (柴犬) 宮 崎 龍火子

就寝は異常である。このころ、余程疲れていたのだから。

季刊連句 第16号 目次

政子石(南柏雑記 14) 1

連句に愛着する.....山田 みづえ..... 2

「市中は」の巻鑑賞(Ⅱ).....東 明 雅..... 6

歌仙 歳の瀬.....草間 時彦捌.....10

捌きの心得.....名古 則子.....12

暮雨巷のこと.....式田 和子.....15

校合の限界.....杉内 徒司.....16

電通会連句部作品.....山口 美恵.....18

 新年.....吉田 憲助 初懐紙.....秋元 正江

絶頂の城.....東 明 雅.....20

第20回猫蓑会 二十韻 六巻.....22

 元日や...市野沢弘子 雪吊.....山口みづゑ 大寒や...中島 啓世

 初懐紙...秋元 正江 初塚.....福井 隆秀 初富士...桜井天留子

七騎の会作品 神田川の巻.....大畑 健治.....24

 (第一次稿・第二次稿・決定稿)

連句教室 冬ぬくし.....東 明 雅 石 露.....杉内 徒司.....26

 一月の床.....東 明 雅 初筑波.....杉内 徒司.....27

二十韻 秋桜・年はじめ.....東 明 雅捌.....28

新刊紹介	草間時彦著「夜咄」..... 5	金子恭子著「祭宿」..... 5
	杉江杉亭著「井の頭集」.....17	知足庵一海著「やせ蛙の旅」...17
	自解百句選「山田みづえ集」... 3	金子兜太著「皆之」.....17

雁帛往来・連句会案内.....29

表紙(猿猴) 宮崎 龍火子

季刊連句 第15号 目次

ロスでのハプニング(南柏雑記 13) 1

『連句辞典』読後.....草間 時彦..... 2

『連句辞典』書評(抄).....今泉準一, 石寒太, 山田みづえ..... 4

祝賀・明雅先生古稀.....二村 文人..... 7

市中の巻 (1).....東 明 雅..... 8

八戸俳諧倶楽部探訪の記.....二村 文人.....12

紅葉大樹.....歌仙.....東 明 雅(捌)・加藤 耕子(文).....14

第3回(昭和61年度)武翁賞発表.....16

絶頂の城.....20

第六回俳諧芭蕉忌 第十九回 猫蓑会.....22

 第一部 正式俳諧興行 脇起り二十韻 百歳の気色

 第二部 脇起り二十韻 初時雨 六巻

 捌 馬場 東 夷 米谷 貞子 中田 あかり

 杉江 杉亭 坂本 孝子 副島 久美子

恥かしながら執筆の大役.....中川 哲.....26

連句教室.....木犀 明雅 捌 鷗雲 徒司 捌.....28

式日歌.....11 連句会案内・雁帛往来.....29

表紙(猿猴) 宮崎 龍火子

て見て居るさまである。猶「給へ」の一語でこの両者の人柄も、立派な人々であることが知られる。

嶋立庵今昔 (南柏雜記 16)	1
連句のことなど	草間 時彦..... 2
「市中は」の巻 鑑賞 (IV)	東 明雅..... 6
歌仙の首尾時間	杉内 徒司..... 8
二十韻・評価と批判	
草間時彦・高藤馬山人・鈴木春山洞 小野寺妙子・大畑健治・星野石雀 10	
絶頂の城 (最終回)	14
芭流朱連句会作品 (二十韻)	鈴木 春山洞 捌..... 16
興流連句会作品 (歌仙)	馬場 彬風 指導..... 17
おくのほそ道紀行 俳諧のたねのこぼれて	
秋元 正江..... 18	
二十韻 四巻	
..... 20	
暮雨巷に出縁の衆と俳諧興行	式田 和子..... 22
第二十二回 猫蓑会	25
捌 氏原 正雄 大窪 瑞枝 式田 和子 杉戸 金一 高瀬 美保 中川 哲 余興三巻 麦酒注ぎ 副島久美子捌 紅蜀葵 膝送り 巴里祭 膝送り	
沙羅の会	沙羅の昼・沙羅咲く・合歓 膝送り..... 28
新刊紹介	
橋間石 著「橋間石俳句選集」	
..... 13	
草間時彦 著「淡酒亭歳事記」	
桜井天留子 著「二人静」	
馬場東夷 著「春障子」	
質疑応答	21
雁帛往来・連句会案内	29

亀戸神社と連歌所 (南柏雜記 15)	1
知らざるをたのみて	わだ としお..... 2
—美術館めぐりの旅から—	
しおりの場	東 明雅..... 7
「市中は」の巻 鑑賞 (III)	東 明雅..... 8
脇起り追悼歌仙 春の人	佐藤 和夫 捌..... 14
香歩先生を悼む	
佐藤和夫・香歩さんのこと	
草間時彦	
亀戸天神藤祭り奉納正式俳諧興行 第二十一回 猫蓑会	16
第一部 正式俳諧興行 (一)役割 (二)次第	
二十韻「瀬東や」 亀戸天神社 木村恒雄氏書簡	
..... 17	
第二部 二十韻 七巻	
..... 18	
捌 東 明雅 内田 麻子 中田あかり 馬場 彬風 雑賀 遊 吉沢てるよ 上月 淳子	
文台「左澤」(あてらざわ) 製作雑感	五十嵐譲介..... 20
亀戸天神藤祭り奉納正式俳諧興行	式田 和子..... 21
絶頂の城	22
連句教室 百韻 待春	杉内 徒司 捌..... 24
花野連句会 二十韻 下萌	小出きよみ 捌..... 26
柏連句会 二十韻 藤の房	井手 樺晴 捌..... 28
木の芽風	
東 郁子 捌..... 28	
新刊紹介	
岡本春人著「ばれんたいん」	
平井照敏著「かな書きの詩」	
吉岡梅游著「連句・俳句自選集」	
東京義仲寺連句会芭蕉庵の会著「花あんず」	
佐藤和夫著「俳句から HAIKU へ」	
..... 6	
廣田二郎著「芭蕉と古典」	
雁帛往来・連句会案内	29

庵十五年・昭和五十二年没、二十世村山古郷(在庵十年)

阿蘇にて(南柏雑記 18) 1

恋句特集

- 現代恋句小論 東 明雅 2
 恋句あれこれ (故) 根津 芦丈 4
 付句における恋の倒錯 杉内 徒司 6
 恋句雑感 小出きよみ・坂本孝子・市野沢弘子 8

「市中は」の巻鑑賞(VI) 東 明雅 10

歌仙 女正月 捌 東 明雅 ・ 文 式田 和子 14

「蓑虫」付勝練習二十韻 16

第二十四回 猫蓑会 二十韻 六卷 捌 小川弥生・井手櫻晴・坂本孝子 18
 副島久美子・八角澄子・若尾よしえ

沙羅の会 脇起り百韻 二巻 葱白く 捌 氏原 正雄・馬場 彬風 20

波郷先生の連句に思う 下鉢 清子 24

四宮連句会 歌仙 勤労感謝の日 捌 東 明雅 26

両吟二十韻 山に山 原 裕・中島 啓世 文 啓世 27

アメリカ便り 竹本 義人 28

新刊紹介

- 小出きよみ著「あさって」 9
 阿部 正美著「芭蕉連句抄 第十篇」 9
 清水 瓢左著「蕉風連句の髓」 9
 雲英 末雄著「芭蕉連句古註集 猿蓑篇」 28

雁帛往来・連句会案内 29

歳時記について(南柏雑記 17) 1

俳句と発句 草間 時彦 2

「市中は」の巻 鑑賞(V) 東 明雅 4

第四回 武翁賞発表(昭和六十二年度) 8

「蓑虫」付勝練習二十韻 12

第七回 俳諧芭蕉忌 第二十三回 猫蓑会 14

第一部 正式俳諧興行 脇起り二十韻 初時雨

第二部 脇起り二十韻 六巻

- 捌 梅田 利子 下坂 元子 下鉢 清子
 滝川 雅代 原田 千町 山崎 一恵
 文 豊田 好敏 副島久美子 上月 淳子

鳴立庵新庵主入庵記念祝賀会 20

こよろぎの集い 下鉢 清子

祝賀二十韻 秋麗ら 七巻

- 捌 草間 時彦 坂本 孝子 杉内 徒司 杉江 杉亭
 鈴木春山洞 馬場 彬風 東 明雅

新庵主主催 膝送り歌仙 黄落期

袖子の里 柏連句会吟行 北見さとる 24

二十韻 四巻

- 捌 東 明雅 小林しげと
 下鉢 清子 原田 千町

百韻を捌いて 関口連句教室 秋元 正江 26

二十韻三巻

- 捌 内田 麻子 式田 和子 豊田 好敏 28

連句会案内・雁帛往来 29

い旅館であった。ここは岐阜の国島十雨さんの御親戚のお

志の人・故瓢左先生（南柏雑記 20）	1
句の作り方	三好龍肝 2
『冬の日』の難句 — 越の独活菫	佐藤廣幸 4
「鶯の羽も」の巻 鑑賞（I）	東 明雅 8
沙羅の会 歌仙三巻 捌 杉江杉亭・中島啓世・東 明雅	10
（余興二十韻 二巻）	
連句季寄せアンケート	小林しげと・馬場彬風・氏原正雄 杉江杉亭・式田和子・福井隆秀 14
「蓑虫」付勝練習二十韻	18
第二十六回 猫蓑会 歌仙六巻	
捌 桜井天留子・中田あかり・中島啓世 豊田好敏・杉江杉亭・秋元正江 20	
興流連句会 歌仙 ほととぎす	（膝送り） 24
四宮連句会 歌仙二巻 鮎の腸・青梅雨	（膝送り）
連句懇話会全国大会 歌仙 涼しさの	捌 原田千町 26
柏連句会 歌仙二巻	捌 東 明雅・下鉢清子
俳諧連歌 歌仙 朴散華	捌 東 明雅 28
雁帛往来・連句会案内	29

筑波の道（南柏雑記 19）	1
<p>特集 連句鑑賞</p> <p>鑑賞片言 鈴木春山洞 2</p> <p>「市中は」の巻鑑賞（Ⅶ） 東 明雅 4</p> <p>連句鑑賞の基盤 大畑 健治 9</p>	
<p>付廻し祝賀歌仙 東へ向けて 文 杉内 徒司 14</p> <p>二十韻 東風に 文 秋元 正江 16</p> <p>お礼の言葉 叙勲祝賀会の挨拶 東 明雅 17</p>	
「蓑虫」付勝練習二十韻	18
<p>亀戸天神藤祭り奉納正式俳諧興行 第二十五回 猫蓑会 20</p> <p>第一部 正式俳諧興行 (一) 役割 (二) 次第</p> <p>二十韻 藤浪や 文 原田 千町 21</p> <p>第二部 二十韻 八巻 22</p> <p>捌 雑賀 遊・市野沢弘子・高瀬美保・原田千町 中川 哲・本屋良子・東 明雅・式田和子</p>	
筑波連句会 二十韻二巻 捌 下鉢清子・秋元正江	26
渋谷連句会 二十韻 雪月花 捌 豊田好敏	27
逗子連句会 二十韻 沈丁の 捌 本屋良子	
『冬の日』の「まゆかき」	佐藤 廣幸 28
雁帛往来・連句会案内	29

さら
越縁
の松
から
大垣
まで
が名
残の
裏と
考え
てい
るが
、こ
の

「おくのほそ道」の正花（南柏雑記 22）…………… 1

「あたまうつな」の見立て替え……………佐藤廣幸…………… 2

「鳶の羽も」の巻 鑑賞（Ⅲ）……………東 明雅…………… 4

沙羅の会 歌仙二巻……………捌・文 東 明雅・式田和子…………… 8

「蓑虫」付勝練習二十韻…………… 10

「新一夜四歌仙」……………文 草間時彦…………… 12

第二十八回 猫蓑会 二十韻七巻…………… 16

捌 内田麻子・福井隆秀・米谷貞子・瀧川雅代
金久保淑子・山崎一恵・若尾よしえ
余興二十韻膝送り二巻 松とれて・七日粥
文 秋元正江

電通連句部 残る紅葉……………捌 秋元正江・文 山口美恵…………… 21

柏連句会 二十韻四巻…捌 東 明雅・秋元正江…………… 22
福井隆秀・下鉢清子 文 下鉢清子

四宮連句会 後の月……………捌・文 永島靖子…………… 24

興流連句会 紫蘇の実……………捌 尾向閑堂・文 田原竹無斉…………… 25

赤山連句会 酸漿市……………捌・文 二宮操…………… 26

関口連句教室 歌仙 木守柿……………捌・文 下鉢清子…………… 27

雁帛往来・連句会案内…………… 29

北枝の墓（南柏雑記 21）…………… 1

岩木の臭き宿（『春の日』）…………… 佐藤 廣幸 …… 2

「鳶の羽も」の巻 鑑賞（Ⅱ）…………… 東 明雅 …… 4

第五回 武翁賞発表（昭和六十三年度）…………… 9

「蓑虫」付勝練習二十韻 …… 12

第八回 俳諧芭蕉忌 第二十七回 猫蓑会 …… 14

正式俳諧興行 脇起り二十韻 葱白く 杉江 杉亭 捌
二十韻 六巻
捌 梅田 利子 小川 弥生 上月 淳子
下坂 元子 下鉢 清子 八角 澄子
文 福井 隆秀 瀧川 雅代 金久保淑子

句を付け合うという人間関係 …… 矢崎 藍 …… 20
—連句と人生の楽しい未来を信じて—

ころも俳諧 歌仙 虚空 …… 捌 矢崎 藍 …… 22

連句法楽 …… 福井 隆秀 …… 23

おくのほそ道紀行 Ⅱ …… 下鉢 清子 …… 24

歌仙 二巻 …… 捌 秋元 正江・式田 和子
膝送り 二十韻四巻
新山中三吟 歌仙（秋元 正江・坂本 孝子・式田 和子）
両吟 二十韻一卷（坂本 孝子・大窪 瑞枝）

柏連句会 二十韻二巻 …… 捌 東 明雅・五十嵐讓介 …… 28

大和便り …… 佐藤 廣幸 …… 29

雁帛往来

口伝

口伝 (南柏雑記 24) 1
 旅三章 I 永遠とものあわれ.....草間時彦..... 2
 「薫の羽も」の巻 鑑賞 (V).....東 明雅..... 4

世界俳句大会

「おもかげの紅粉の花」の記 下鉢清子..... 8
 「おくのほそ道」の恋句 (講演要旨).....東 明雅..... 9
 半歌仙 紅粉の花 笹 白舟 捌..... 11
 膝送り二十韻 蔓手鞠

「蓑虫」付勝練習二十韻 12
 豊田ころも連句会
 連句の種蒔き 由川慶子..... 14
 三河の旅 東 明雅..... 15
 歌仙二巻 猿投山 梅雨晴れ 16
 二十韻三巻 夏料理 杜若 赤米 18
 連句のすゝめ 斎藤吾朗..... 19

第三十回 猫養会 歌仙六巻
 捌 市野沢弘子・大窪 瑞枝・坂本 孝子.....20
 杉江 杉亭・中島 啓世・山口みづゑ
 月の句について 東 明雅

関口連句教室
 歌仙 麦稗蛇 杉内徒司 捌..... 26
 百回記念の会 東 明雅
 興流連句会 28
 膝送り二十韻 竹落葉
 雁帛往来 29

恋句は三句去り (南柏雑記 23) 1
 えにし 国島十雨..... 2
 「薫の羽も」の巻 鑑賞 (IV) 東 明雅..... 4
 A・C・C実作歌仙二巻.....文 東 明雅・秋元正江..... 10

亀戸天神藤祭り奉納正式俳諧興行 第二十九回 猫養会... 14
 第一部 正式俳諧興行 (一) 役割 (二) 次第
 二十韻.....捌・文 杉江杉亭
 第二部 二十韻九巻.....捌 東 明雅・上月淳子・式田和子
 副島久美子・豊田好敏・中田あかり
 馬場彬風・原田千町・吉沢てるよ
 歌膝.....秋元 正江..... 19
 幸せと連句.....中島 啓世..... 20
 一役員として.....市野沢弘子..... 21

「蓑虫」付勝練習二十韻..... 22
 柏連句会 二十韻 捌 東 明雅・文 山田和久..... 24
 四宮連句会 二十韻 捌・文 坂本孝子..... 25
 逗子連句会 二十韻 二巻 捌・文 本屋良子..... 26
 捌 加藤道子・文 式田和子..... 27
 電通連句部 二十韻 捌 東 明雅・文 青木秀樹..... 28
 雁帛往来・連句会案内..... 29
 新刊紹介・「電通連句」..... 21

歌集」を拝見すると、たとえば、
立還る春や又時く花の種
日永の足結子らと若やく

陽山

芭蕉の後継者たち（南柏雑記 26）…………… 1
 「鳶の羽も」の巻 鑑賞（Ⅶ）……………東 明雅…………… 2
 校合報告（半歌仙 秋麗）……………鈴木春山洞…………… 4
 鉋の刃の砥ぎ方（二十韻 暮の市）……………式田和子…………… 6
 校合の過程（歌仙 聖夜なる）……………坂本孝子……………10
 「蓑虫」付勝練習二十韻 ……………14

第三十二回 猫蓑会 歌仙六卷 …………… 16

捌 氏原正雄 下坂元子 中川 哲
 東 明雅 福井隆秀 山崎一恵
 花の句について……………東 明雅

逗子連句会 歌仙二巻 捌・文 東 明雅 本屋良子 ……………22
 渋谷連句会 歌仙三巻 捌・文 東 明雅 大窪瑞枝 下坂元子…24
 興流連句会 二十韻一卷 膝送り・文 馬場彬風 ……………27
 柏連句会 二十韻一卷 捌・文 久保田庸子……………28
 雁帛往来 ……………29
 新刊紹介 ……………28

奈良茶三石六斗（南柏雑記 25）…………… 1
 旅三章（つづき）Ⅱ 写実 Ⅲ 残酷な春 ……草間時彦…………… 2
 「鳶の羽も」の巻 鑑賞（Ⅵ）……………東 明雅…………… 4
 第六回 武翁賞発表（平成元年度）…………… 8

第九回 俳諧芭蕉忌 第三十一回 猫蓑会 …………… 11

正式俳諧興行 脇起り二十韻 初しぐれ 中川 哲 捌
 二十韻八巻

捌 市野沢弘子・上月淳子・雑賀 遊・下鉢清子
 瀧川雅代・速水昌子・東 明雅・本屋良子
 文 下坂元子・若尾よしえ

「蓑虫」付勝練習二十韻 …………… 16
 沙羅の会 歌仙四巻 …………… 18
 捌 東 明雅・上月淳子・副島久美子・原田千町

江戸東京自由大学 …………… 22

江戸俳諧早わかり・連句クイズ百点満点… 東 明雅
 口用心 お客倦かすな 句を貰え…………… 式田和子

新庄市全国連句大会記 ……………内田麻子…………… 28
 雁帛往来 …………… 29
 新刊紹介 …………… 28

を過ぎた六十一歳の翁であったが、児童はまだ壮年の三十

第三十号を迎えて(南柏雑記 28).....	1
連句の作り方.....東 明雅.....	2
灰汁桶の雫.....佐藤廣幸.....	6
「鳶の羽も」の巻鑑賞(IX).....東 明雅.....	8
「吉野」の恋句.....秋元正江.....	11
「蓑虫」付勝練習二十韻.....	12
沙羅の会.....	14
第三十四回 猫蓑会 歌仙七巻.....18	
捌 市野沢弘子 内田麻子 梅田利子	
米谷貞子 杉内徒司 中島啓世	
原田千町	
開かれた「猫蓑会」.....式田和子.....	22
鳴立庵の記.....品川鈴子.....	24
名古屋「笹」の会.....伊藤敬子.....	25
二十韻六巻.....	26
国民文化祭ちば91 連句大会に向かって.....下鉢清子.....	28
雁帛往来.....	29
新刊紹介.....	21・23

表紙(木曾駒) 宮崎龍火子

「暴落」と「じり安」(南柏雑記 27).....	1
風雅考 — 芭蕉遺語をめぐって.....片山多迦夫.....	2
おもひ切たる死ぐるひ.....佐藤 廣幸.....	4
「鳶の羽も」の巻鑑賞(VIII).....東 明雅.....	8
「蓑虫」付勝練習二十韻.....	12

亀戸天神藤祭り奉納正式俳諧興行 第三十三回猫蓑会	
第一部 正式俳諧興行 (一)役割 (二)次第.....	14
二十韻.....捌・文 中川 哲	
第二部 二十韻 八巻.....	捌 東 明雅 金久保淑子
馬場 彬風 篠原 達子 蒲原志げ子	
八角 澄子 中田あかり 佛淵 健悟	
胼胝は知っている.....式田 和子	
— 執筆始末記 —	

関口連句教室 歌仙 捌 東 明雅.....	21
遊喜の会 歌仙 捌 中田あかり.....	22
ころも連句会 歌仙 捌 矢崎 藍.....	23
大和路旅行吟 歌仙 膝送り.....	24
柏連句会 二十韻三巻 捌 東 明雅 小林しげと 五十嵐譲介.....	25
白金連句会 捌・文 下鉢 清子.....	26
芭蕉連句に現われる経済のこと.....福井 隆秀.....	27
雁帛往来.....	29
新刊紹介.....	18

表紙(木曾駒) 宮崎龍火子

立机式について(南柏雑記 32) 1

新炭俵批評特集

新しい酒は新しい革囊に 佐野 千遊... 2

三本目の道標 小林しげと... 4

新炭俵を読んで 宮下 太郎... 6

実にその通りなのである 村野 夏生... 8

新炭俵を拝見して 名古 則子... 10

木の丸殿より 中尾 青宵... 12

猫蓑同人会発会式と二十韻興行 14

二十韻六卷 捌 東 明雅・市野沢弘子・内田 麻子
副島久美子・中島 啓世・中田あかり

「蓑虫」付勝二十韻 16

第三十八回 猫蓑会 18

出版祝賀会の記 仏淵健悟

二十韻十卷 捌 山崎一恵・秋元正江・小林しげと・杉内徒司
穴沢篤子・下鉢清子・梅田利子・杉江杉亭
福井隆秀・雑賀 遊

芦丈翁俳諧聞書(Ⅱ) 22

二十韻 借景の花 両吟 式田和子・坂本孝子 24

二十韻 モロッコの月 文音両吟 内田園生・中島啓世 25

電通連句部 二十韻三卷 捌 青木秀樹・鈴木 茂・佐古英子... 26

卯の花連句会 二十韻三卷 両吟 仏淵健悟・峯田政志・若松隆一・
近藤守男 27

湘南連句教室 二十韻三卷 捌 蒲原志げ子・松田多恵子・
本田八重子 28

雁帛往来 29

表紙(かもしか) 宮 崎 龍火子

花 と 桜(南柏雑記 31) 1

二十韻私見 柴崎正寿郎... 2

—「座の文学」を守るために—

孤高の俳諧師 東 明 雅... 4

—石洲橋本隆介師のことども—

歌仙三卷 膝送り 猫 柳(東 明雅・草間時彦・古館曹人)

両吟文音 北 齋(片山多迦夫・東 明雅)

花あかり(捌 坂本孝子)

亀戸天神藤祭り奉納正式俳諧興行 第三十七回 猫蓑会 11

第一部 正式俳諧興行 (一)役割 (二)次第

二十韻 藤浪の 捌 秋元正江
文 藤の幻影 秋元正江

第二部 二十韻 九卷 捌 東 明雅・内田麻子・金久保淑子
上月淳子・下坂元子・豊田好敏
中川 哲・山口みづゑ・若松 香

文 「配硯役」うわの空の記 梅田利子
座配をつとめて 小林千雪

「蓑虫」付勝練習 二十韻 東 明雅... 18

「猫蓑作品集 I」を読んで 仏淵健悟... 20

芦丈翁俳諧聞書(Ⅰ) 22

二十韻 風の訪ひ来る 捌 文 矢崎 藍... 24

歌仙 啓蟄や 捌 滝川雅代... 25

関口連句教室 歌仙二卷 花の雨 無縁坂 ... 捌 下鉢清子・秋元正江... 26

半歌仙 行く秋を 捌 秋元正江... 27

二十韻 風光る 捌 式田和子

二十韻 夜神楽 捌 青木秀樹

雁帛往来 29

新刊紹介 23・27

表紙(かもしか) 宮 崎 龍火子

女の二三、五、年(筆名不明)

式目論 (南柏雑記 34)	1
芭蕉の「発句」と「俳句」	東 明雅 2
立機式と二十韻興行	
式次第	4
正式俳諧 次第・役割	5
立機披露記念俳諧之連歌 二十韻	捌 東 明雅
二十韻十一卷	捌 東 明雅 下坂元子 下鉢清子 瀧川雅代...
	名古屋則子 八角澄子 福井隆秀 矢崎 藍
	山崎一恵 若尾よしえ 三好龍肝
立機式以後のことなど	豊田 好敏 12
脇三体	13
「蓑虫」付勝練習二十韻	14
第六回国民文化祭ちば91	
「水と緑とうたびとたち」連句部門あれこれ...	下鉢 清子 16
作品十一卷	捌 秋元正江 内田麻子 式田和子 下鉢清子
	杉内徒司 杉江杉亭 副島久美子 中川 哲
	根津美紗 福井隆秀 矢崎 藍
芦丈翁聞書	21
第四十回 猫蓑会	
歌仙七巻	捌 東 明雅 市野沢弘子 大窪瑞枝 坂本孝子
	副島久美子 中島啓世 中田あかり
雁帛往来	29
新講座紹介	11

表紙 (尾白鷺) 宮崎龍火子

立機式雑感 (南柏雑記 33)	1
立機三宗匠の略歴と紹介	2
三宗匠捌による歌仙三巻	4
賛・新宗匠	6
	羅浮亭正江宗匠.....草間時彦・加藤慶二
	行々子庵平朗宗匠.....水澤魚乙・木村聖哉
	桃径庵和子宗匠.....近松寿子・品川鈴子
挨拶	秋元正江・杉江平朗・式田和子 9
恋句の作り方味わい方	東 明 雅 10
第十一回俳諧芭蕉忌 第三十九回 猫蓑会	
正式俳諧興行	脇起り二十韻 捌 式田和子
二十韻八巻	捌 金久保淑子・蒲原志げ子・小林 千雪
	篠原 達子・瀧川 雅代・八角 澄子
	本屋 良子・山口みづゑ
「蓑虫」付勝練習二十韻	22
「房連庵の連句」について	福 井 隆 秀 24
歌仙 荻の風	捌・文 式 田 和 子 26
第三回全国連句新庄大会	文 秋 元 正 江 28
雁帛往来	29
新刊紹介	21

表紙 (かもしか) 宮崎 龍火子

るけれども、これでも十分利用できる。私はこの矢立というものこそ日本人の発明した便利な筆記具として感心して

季刊連句 第38号 目次

旅硯と旅畳み (南柏雑記 36)	1
作者付	2
— 私の付方伝 —	
三吟歌仙 たかんな	4
古館曹人・草間時彦・東 明雅	
第二回 猫養同人会	5
歌仙五巻 捌 秋元正江 杉江杉亭 式田和子	
坂本孝子 大窪瑞枝	
俳人協会日独俳句交歓会	10
— メモランダム —	
第四十二回 猫養会	14
歌仙七巻 捌 東 明雅 上月淳子 杉内徒司	
高瀬美保 豊田好敏 仏淵健悟	
若尾よしえ	
付句募集 (付勝練習二十韻)	21
芦丈翁俳諧聞書 (V)	22
「猫養作品集Ⅱ」を読んで	24
梅田利子	
宗匠制度礼讃	26
大畑健治	
二十韻 六巻	27
風薫る	秋元正江 他
梅鉢の紋	倉本路子 他
紅梅や	文音 中島啓世・東 明雅
筍	文音 式田和子・峯田政志
玉蟲の	捌 仏淵健悟
梅雨曇り	捌 豊田好敏
雁帛往来	29

表紙 (尾白鷺) 宮崎龍火子

季刊連句 第37号 目次

俳諧連歌三千巻 (南柏雑記 35)	1
平成三年の連句界	東 明雅 ... 2
歌仙四巻 春炬燵	(東 明雅・草間時彦・平井照敏) ... 4
春深し	(捌 東 明雅)
弥生尽	(捌 原田千町)
海棠	(坂本孝子・式田和子・大窪瑞枝)
二十韻 夜長 (捌・文 秋元正江)	8
亀戸天神藤祭り奉納正式俳諧興行 第四十一回猫養会	10
第一部 正式俳諧興行 (一)役割 (二)次第	
二十韻 藤祭 捌 式田和子	
文 冠 亀戸天神社奉納正式俳諧 式田和子	
第二部 二十韻 八巻 捌 東 明雅・倉本路子・桑原美津	
下坂元子・下鉢清子・中川 哲	
原田千町・東 郁子	
文 文台袖 副島久美子	
初習い「配硯役」顛末 岩井啓子	
袁虫付勝練習二十韻	東 明雅 ... 18
芦丈翁俳諧聞書 (IV)	20
二十韻五巻	24
捌 式田和子・中川 哲・原田千町	
鈴木 茂・田村満子	
手賀沼連句会	26
手賀沼張行記	
二十韻 八巻 捌 秋元正江・市野沢弘子・内田麻子	
式田和子・下鉢清子・鈴木千恵子	
中島啓世・福井隆秀	
雁帛往来	29
新刊紹介	25

表紙 (尾白鷺) 宮崎龍火子

芭蕉の心法 (南柏雜記 38) 1

朧夜と朧月 東 明雅 ... 2

歳旦三っ物 4

「灰汁桶の」の巻鑑賞 東 明雅 ... 9

「馬追」付勝練習二十韻 東 明雅 ... 12

第7回国民文化祭 石川92連句大会 文 下鉢清子 ... 14

応募入選作三卷 捌・文 倉本路子・八角澄子・百武冬乃

当日作品七卷 捌 東 明雅・秋元正江・内田麻子・式田和子
中川 哲・福井隆秀・本屋良子

二十韻三卷 捌 松本 碧・佐古英子・山口美恵 ... 21

芦丈翁俳諧聞書 (VII) 22

百韻「霜月や」 捌 坂本孝子 24

歌仙二卷 捌 杉江杉亭・式田和子 26

二十韻三卷 捌 秋元正江・中田あかり 28

新刊紹介 20

雁帛往来 29

表紙 (軍鶏) 宮崎龍火子

ぬらりひょん (南柏雜記 37) 1

英語と日本語での連句体験 矢崎 藍 ... 2

— AIRでの半歌仙「アンにささげるビーバーの巻」—

第十二回 俳諧芭蕉忌 第四十三回 猫蓑会 6

正式俳諧興行 脇起り二十韻 冬籠り 捌・文 豊田好敏

二十韻八卷 捌・文 東 明雅 金久保淑子 蒲原志げ子 雑賀 遊
八角澄子 百武冬乃 山口みづゑ 山崎一恵

「灰汁桶の」の巻 鑑賞 (I) 東 明雅 ... 16

「馬追」付勝練習二十韻 東 明雅 ... 20

新庄市第四回全国連句大会 文・上月淳子 ... 22

作品 三卷 捌 豊田好敏 内田麻子 中島啓世

芦丈翁俳諧聞書 (VI) 24

百韻 膝送り 醉芙蓉 花の会 ... 26

二十韻 四卷 捌 藤井草舎 瀧川雅代 鈴木美奈子 ... 28

東 明雅 19

新刊紹介 27

雁帛往来 29

表紙 (尾白鷺) 宮崎龍火子

芭蕉の心法

雅

「あるものは付く、無いものは付かぬ」「根を切れ、その続きをいうな」と教えて来たが、転じの方法については、

連詩と連句 (南柏雜記40)	1
半歌仙「初昔」の卷異論 (Ⅱ)	東 明雅 ... 2
「灰汁桶の」の卷 鑑賞	東 明雅 ... 6
第三回 猫蓑同人会	9
歌仙五卷 捌 東 明雅 梅田利子 上月淳子 下鉢清子 中川 哲	
「馬追」付勝練習二十韻	14
第四十六回 猫蓑会	16
歌仙八卷 捌 東 明雅 穴沢篤子 市野沢弘子 金久保淑子 蒲原志げ子 倉本路子 下坂元子 東 郁子	
全国連句いなみ大会	文 秋元正江 ... 24
半歌仙十卷 捌 秋元正江 東 明雅 内田麻子 式田和子 下鉢清子 杉江杉亭 中川 哲 中島啓世 原田千町 福井隆秀	
新刊紹介	5
雁帛往来	29

表紙 (軍鶏) 宮崎龍火子

K氏からの手紙 (南柏雜記39)	1
半歌仙「初昔」の卷異論	東 明雅 ... 2
「灰汁桶の」の卷 鑑賞 (Ⅲ)	東 明雅 ... 6

亀戸天神藤祭り奉納正式俳諧興行 第四十五回 猫蓑会	9
第一部 正式俳諧興行 (一)役割 (二)次第 二十韻「藤祭り」 捌・文 副島久美子	
第二部 二十韻 十卷 捌 東 明雅・岩井啓子・真田光子・杉内徒司 杉江杉亭・副島久美子・橘文子・中島啓世 中田あかり・若尾よしえ	
文 内田麻子・中田あかり	

「馬追」付勝練習二十韻	東 明雅 ... 18
-------------------	-------------

A・C・C「連句入門」講座紹介	
発句の練習	秋元正江 ... 20
連句の成立ち	式田和子 ... 22
付勝二十韻「飛行船」	捌 秋元正江 ... 23

歌仙三卷 捌 東 明雅・杉内徒司・秋元正江	24
芦丈翁俳諧聞書 (Ⅷ)	26
二十韻三卷 捌 田村満子・岩垂景翠・本田八重子	28
新刊紹介	25
雁帛往来	29

表紙 (軍鶏) 宮崎龍火子

連
南詩
柏と
雜連
記句
40

雅

2
この
不意
打ち
の
炎暑
の
地に
／
子供
にか
え
った
バ
ベル
領

季刊連句 第44号 目次

膝痛綺譚 (南柏雑記 42)	1
新形式「源心」の提唱	東 明雅 ... 2
パソ通連句見聞録	海野海砂 ... 4
平成五年度の連句界	東 明雅 ... 8
歳旦三つ物	10
第四十八回猫蓑会	16
歌仙八巻 捌 東 明雅 内田麻子 上月淳子 雑賀 遊	
瀧川雅代 豊田好敏 八角澄子 仏淵健悟	
「馬追」付勝練習二十韻	24
うらら会	26
源心四巻 捌 東 明雅 式田和子 杉江杉亭 豊田好敏	
柏連句会	28
二十韻三巻 捌 下鉢清子 五十嵐讓介 中田あかり	
近刊紹介	9
雁帛往来	29

表紙 (翡翠) 宮崎龍火子

季刊連句 第43号 目次

三つの全国連句大会 (南柏雑記41)	1
半歌仙「初昔」の巻異論 (Ⅲ)	東 明雅 ... 2
「灰汁桶の」の巻 鑑賞 (V)	東 明雅 ... 6
第十四回 俳諧芭蕉忌 第四十七回猫蓑会	10
正式俳諧興行 脇起り二十韻 文 中川 凡	
二十韻十一巻 捌 東 明雅 梅田利子 加藤道子 神谷安子	
小林千雪 篠原達子 下鉢清子 須田智恵	
高瀬美保 橋 文子 百武冬乃	
「馬追」付勝練習二十韻	16
第五回全国連句新庄大会	文・東 明雅 ... 18
作品 五巻 捌 秋元正江 上月淳子 式田和子	
下鉢清子 東 郁子	
芦丈翁俳諧聞書 (IX)	20
歌仙 三巻 捌 坂本孝子 式田和子	24
文音 米谷貞子 山口みづゑ 上月淳子	
膝送り百韻 一巻	花の会 ... 26
連句のリズム	竹本義人 ... 28
新刊紹介	25
雁帛往来	29

表紙 (軍鶏) 宮崎龍火子

連句との三十年 (南柏雜記 43)	1
歌仙「花の盛り」	捌 上月 淳子・評 東 明雅 ... 2
A. C. Cの連句実作を受持って	秋元 正江 ... 4
A. C. C講義の一年	式田 和子 ... 6
「灰汁桶の」の巻鑑賞 (VI)	東 明雅 ... 8
亀戸天神藤祭り奉納正式俳諧興行 第四十九回 猫蓑会	11
第一部 正式俳諧興行 (一)役割 (二)次第	
二十韻「梅の若枝」 捌・文 中川 哲	
第二部 二十韻 十二卷	
文 執筆の役を終えて.....	仏淵健悟
「馬追」付勝練習二十韻	東 明雅 ... 20
百韻「麗かや」	捌 坂本 孝子 ... 22
源心一卷 歌仙二巻	捌 東 明雅・秋元 正江 ... 24
	坂本 孝子・式田 和子 両吟
明雅先生の中寿をお祝いして	秋元 正江 ... 26
「芦丈翁俳諧聞書」編集奮闘記	登坂かりん ... 28
雁帛往来・終刊の辞	29